

# 令和7年度行政評価 施策評価シート (令和6年度実績)

## 施策名 観光産業の発展

施策コード 5010101

1. 施策の担当	
主管課	生活産業部 まちの活性課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ				
総合計画	政策	第1章 地域の強みを生かし、賑わいを創り出すまちづくり（活力・賑わい）	節	第1節 観光
	施策	観光産業の発展		

### 基本方針

- 「泉佐野シティプロモーション推進協議会」、「泉佐野市観光協会」を中心として、目的地となるための観光振興の組織体制を構築します。
- 目的地となるための観光地経営をめざして、イノベーションを起こす人材の育成を実現するために、観光関連団体において、人材育成の動きが自立的かつ持続的に発展する環境の整備を支援します。
- 訪日外国人旅行者の滞在時の快適性及び観光地の魅力向上並びに観光地までの移動等の円滑化を図るため、多言語による案内をはじめとする受入環境整備に取り組みます。
- 「KIX泉州ツーリズムビューロー」と連携し、広域的に観光振興事業を行い、泉州地域への誘客に努めます。
- 豊富な観光資源を活用した市民団体等の主催イベントを側面的に支援します。
- SNS等を活用して、市の魅力や観光情報をリアルタイムに市内外へ発信し、観光客の誘致に努めます。

### 現況と課題

- 訪日外国人旅行者は着実に増え続けており、観光関連産業の活性化が期待されています。
- 日本版DMO「泉佐野シティプロモーション推進協議会」は、市や観光協会と連携し、本市のまちの活性化に取り組んでいます。
- 日本版DMOを中心とした組織体制の構築のため、官民連携した効果的な役割分担をしていく必要があります。
- 観光産業の活性化が期待される中、目的地となるための観光地経営を担う人材を育成していく必要があります。
- 訪日外国人旅行者のさらなる増加に向けて、訪日外国人旅行者が快適に観光を満喫できる環境を整備していく必要があります。
- 堺市以南の9市4町で設立した地域連携DMO「KIX泉州ツーリズムビューロー」で広域的に観光振興事業を行うことにより、訪日外国人旅行者の泉州地域への誘客が期待されています。
- 観光協会等と連携して、自然、歴史、文化等の豊富な観光資源をいかしたイベントの開催や支援を行うことにより、一定の集客を確保していますが、市内の歴史ある伝統文化を活用した賑わいを創出するとともに、地域コミュニティを維持・形成していく必要があります。
- 観光関連団体と連携して、市内の宿泊・観光施設との情報のネットワークを構築し、まち処や観光情報センター、インターネット、SNS等を活用したリアルタイムな観光情報の提供に努めるとともに、訪日外国人旅行者に対する情報発信として多言語による案内にも取り組んでいく必要があります。

### 施策目標

#### 対象（誰を、何を、どこを）

訪日外国人観光客、国内観光客、地域事業者

#### 意図（どのような状態にしたいのか）

関西、日本各地、海外から多くの人々が訪れるよう、泉佐野の特色や魅力を活かしつつ収穫力の向上を図り、人々の交流を生み出します。

### 3. 市民ニーズ

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
満足度（偏差値）	46.4	46.4					
重要度（偏差値）	49.8	49.8					

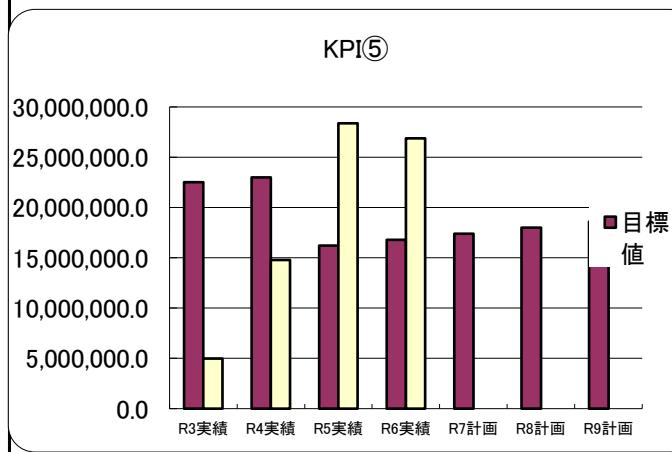
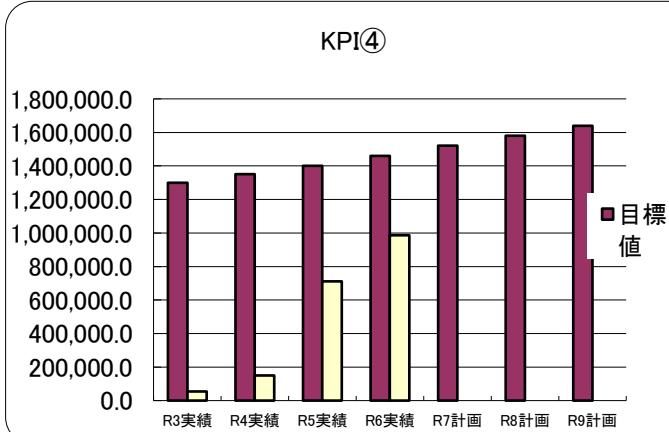
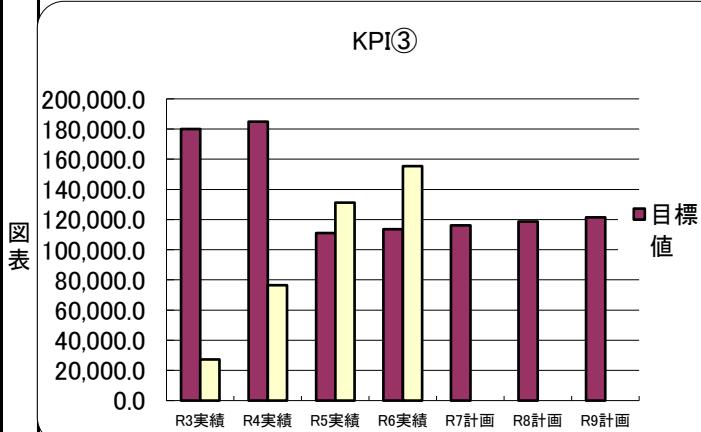
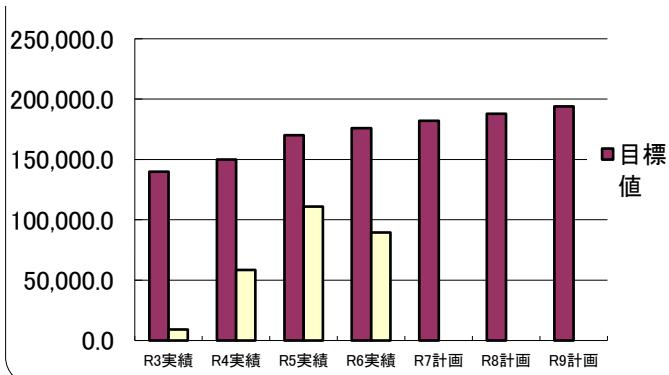
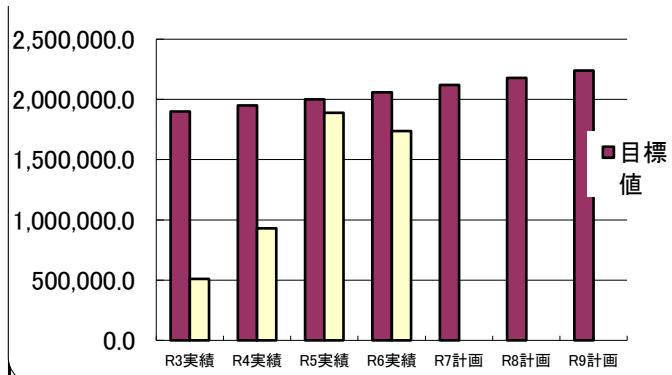
### 4. 施策にかかるコスト

	単位	R5決算	R6決算					
コストの内訳	千円	31,128	24,510					
		176,147	160,037					
		207,275	184,547					
財源内訳	千円	48,425	29,106					
		602	590					
		0	0					
		109,303	105,569					
		48,945	49,282					
		17,817	24,772					

5. 施策の重要業績成果指標(KPI)							
① KPI 1		市内の年間延べ宿泊者数※暦年値					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	1,900,000.0	1,950,000.0	2,000,000.0	2,060,000.0	2,120,000.0	2,180,000.0	2,240,000.0
実績値	509,390.0	928,900.0	1,889,140.0	1,737,140.0			
達成度	26.81	47.64	94.46	84.33			
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
宿泊者数の増加が交流、地域活性化につながることから指標を設定		平成30年度目標値160万人に対し、令和10年度に客室数が約1.4倍になると推定し、最終目標値を230万人と設定		令和5年度でGoToキャンペーン等が終了し、国内旅行者が前年に比べて減少したため。			
② KPI 2		イベント集客数【市内開催に限る】					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	140,000.0	150,000.0	170,000.0	176,000.0	182,000.0	188,000.0	194,000.0
実績値	9,275.0	58,538.0	110,893.0	89,548.0			
達成度	6.63	39.03	65.23	50.88			
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
本市でのイベント集客数を把握することによって、賑わいの創出や市民団体等の観光振興に寄与した度合いを把握するため指標として設定		過去の実績と現状を考慮して10年後の目標を概ね20万人と設定		天候不良の影響によりイベントが中止となったケースがあったため、市内イベント集客数が減少した。			
③ KPI 3		観光交流プラザ「りんくうまち処」・観光おもてなしプラザ「泉佐野まち処」・泉佐野市観光情報センターの					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	180,000.0	185,000.0	111,000.0	113,600.0	116,200.0	118,800.0	121,400.0
実績値	27,192.0	76,540.0	131,177.0	155,455.0			
達成度	15.11	41.37	118.18	136.84			
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
市内にある観光交流プラザ（りんくうまち処）・観光おもてなしプラザ（泉佐野まち処）・泉佐野市観光情報センターでの調査実績数		平成29年度実績96千人に対し、各施設の推定増加率を考慮し、令和10年度の最終目標値を124千人と設定		訪日外国人の増加や、南海泉佐野駅周辺の宿泊施設の増加等により、各施設の利用者が増加した。			
④ KPI 4		市内の年間外国人延べ宿泊者数※暦年値					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	1,300,000.0	1,350,000.0	1,400,000.0	1,460,000.0	1,520,000.0	1,580,000.0	1,640,000.0
実績値	54,660.0	150,310.0	712,190.0	986,700.0			
達成度	4.2	11.13	50.87	67.58			
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
訪日外国人宿泊者数の増加が交流や地域活性化につながることから指標を設定		平成30年度で50万人を目標に設定しましたが、平成26年以降大幅に外国人宿泊者数が増加し、目標をはるかに上回る実績となったので平成27年度以降は過去の実績を踏まえ目標値を設定		コロナ禍の収束や円安の影響により、コロナ禍以前の水準にまで市内を訪れる外国人の数が増加しているため。			
⑤ KPI 5		観光交流プラザ「りんくうまち処」・観光おもてなしプラザ「泉佐野まち処」の売上額					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	22,500,000.0	23,000,000.0	16,200,000.0	16,800,000.0	17,400,000.0	18,000,000.0	18,600,000.0
実績値	4,977,611.0	14,786,043.0	28,361,948.0	26,877,709.0			
達成度	22.12	64.29	175.07	159.99			
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
市内にある観光交流プラザ（りんくうまち処）・観光おもてなしプラザ（泉佐野まち処）・泉佐野市観光情報センターでの売上額		泉佐野市及び特産品協定都市の特産品の販売を通じて、様々な観光資源を有し、本市の魅力向上を目指す指標として目標値を設定		市内業者の取扱商品の変更等により、まち処での売上高が減少した。			

KPI①

KPI②



## 6. 施策の事後評価

判定項目		評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) <b>3</b>	国内外の旅行者数が回復傾向にあり、少しずつ賑わいが戻りつつある。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) <b>2</b>	観光施策は消費喚起にもつながることから、観光振興に対するニーズは地域の事業者等を中心により一層高まりつつある。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) <b>2</b>	新型コロナウイルス感染症による各種制限が緩和に伴い、国内外の旅行を促すため、国も積極的に観光施策を展開している。
	合計点	(10点中) <b>7点</b>	
	総合評価	<b>B</b>	国内外の旅行者数も回復傾向にある。今後は市内滞在時間の増加や消費の増加を目指し、新たな施策を展開していく必要がある。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		<b>B</b>	コロナ禍も落ち着いたところで、改めて目標（あるべき姿）を明確にしていただき、EBPMに基づいた施策の展開に努められたい。
三次評価 (理事者による評価)			

## 7. 施策を構成する事務事業

事務事業			R6年度決算額			R7年度予算	一次評価
予算コード	事務事業名		人件費	事業費	一般財源		
1 01037300	観光振興事業		24,510	160,037	24,772	0	<b>B</b>
合計			24,510	160,037	24,772	0	

令和7年度行政評価 事務事業評価シート(令和6年度実績)

事務事業コード	050201010	予算コード	01037300	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B	
事務事業名	観光振興事業	正規職員数	2.5	国庫支出金	29,106	有効性	B	コロナ禍が収束し、国内外の観光客数が徐々にコロナ禍前の水準にまで回復傾向にある。		
担当課	まちの活性課	嘱託職員数	0.8	府支出金	590					
	市単独事業	臨時職員数	0	市債	0	効率性	C			
根拠法令等	なし	歳出(千円)		その他	105,569					
		人件費総額	24,510	一般財源	49,282	妥当性	A			
				減価償却費	0					
				事業費	160,037	受益者負担	B			
事務事業類型	運営事業	フルコスト(千円)	184,547	緊急性				事務事業実施内容		
実施手法	一部委託	市民1人当たりコスト(円)	1,857					地域への滞在時間の増加を目的としたニューツーリズム・フードツーリズム事業、イヌキン関連業務、観光情報センター運営、泉佐野まち処運営		
対象		活動指標	R6実績	公的関与						
その他	対象数									
国内外の集客向上を目標とする		泉佐野市観光協会関連事業（総イベント数）	23.0	実施主体・委託化						
事業の内容		泉州地域の訪日旅行者数	476.0							
泉佐野市観光協会への観光振興事業の委託（大井関桜まつり、犬鳴山温泉まつり、泉佐野伝統文化体験事業、駅前イルミネーション、観光情報センター運営、多言語観光案内板整備等）。（一社）ICPへの泉佐野・りんくうまち処運営事業、（一社）泉州KIXツーリズムビューロー等を活用した情報発信やおもてなし。ふるさと納税等を活用したイベント助成や市公式キャラクター活動に対する業務委託等。		観光おもてなしプラザ「泉佐野まち処」年間利用者数	21,901.0	他の事務事業との関連						
		成果指標	R6実績	透明性						
		観光おもてなしプラザ「泉佐野まち処」売上額	3,249,942.0							
		泉佐野市観光協会事業（集客）	89,548.0	財政健全化計画						
		泉州地域の旅行消費額（訪日旅行者）	1,130.0							
		コスト指標	R6実績	改革改善プラン達成度						
事業の目的		集客総数一人当たり事業費	1,655.8							
主催・共催イベントの開催や後援イベントとの連携により、市内外のみならず海外からの観光客に本市の様々な観光資源・特産品・伝統文化等地域魅力に接する機会を創出するとともに、さらには来訪者の増加及びリピーターにつなげ、市の誘客促進につなげる。										